

令和3年度事業報告

(令和3年4月1日から令和4年3月31日まで)

I 当法人の概況

1 役員等に関する事項

(1) 理事及び監事に関する事項

理 事

定 数 9人以上13人以内(会長、副会長及び専務理事を含む)

任 期 選任後2年以内に終了する事業年度のうち最終のものに関する定時評議員会の終結の時まで

現在数 常勤1人、非常勤9人、計10人

監 事

定 数 2人

任 期 選任後4年以内に終了する事業年度のうち最終のものに関する定時評議員会の終結の時まで

現在数 常勤なし、非常勤2人、計2人

(令和4年3月31日現在)

職 名	氏 名	任 期	常勤 非常勤	報酬等	所 属
会 長	竹谷 千里	R 3 . 6 . 18～ 令和5年度定時評議員会 終結の時まで	非常勤	なし	北海道公安委員会 委員
副会長	山谷敬三郎	〃	〃	〃	北翔大学 学長
理 事	坂本 征人	〃	〃	〃	北海道中学校長会 対策部幹事
〃	平田 弘子	〃	〃	〃	北海道PTA連合会 事務局長
〃	中畑 雅幸	〃	〃	〃	北海道商工会連合会 総務部長
〃	石原 宏治	〃	〃	〃	北海道新聞社 編集局くらし報道部長
〃	山田 園子	〃	〃	〃	新得町子ども会

職名	氏名	任期	常勤 非常勤	報酬等	所属
理事	濱田 弘子	R 3. 6. 18～ 令和5年度定時評議員会 終結の時まで	非常勤	なし	札幌市西区青少年 育成委員会連絡協議会 議長
〃	早川日出利	〃	〃	〃	苫前町 子ども育成連絡協議会 会長
専務理事	柴田 千尋	〃	常勤	〃	北海道青少年育成協会 事務局長
監事	西村 俊二	R 3. 6. 18～ 令和7年度定時評議員会 終結の時まで	非常勤	〃	税理士
〃	酒元 辰也	〃	〃	〃	北海道歴史文化財団 専務理事

(2) 評議員に関する事項

定数 9人以上13人以内

任期 選任後4年以内に終了する事業年度のうち最終のものに関する定時評議員会の終結の時まで

現在数 常勤なし、非常勤9人、計9人

(令和4年3月31日現在)

職名	氏名	任期	常勤 非常勤	報酬等	所属
評議員	上田 智史	R 3. 6. 18～ 令和7年度定時評議員会 終結の時まで	非常勤	なし	北海道高等学校長協会
〃	紺野 高裕	〃	〃	〃	北海道小学校長会 事務局長
〃	出井 浩義	〃	〃	〃	北海道市長会 事務局長
〃	山内 康弘	〃	〃	〃	北海道町村会 事務局長
〃	木村 謙治	〃	〃	〃	北海道子ども会育成連合会 常務理事兼事務局長

職名	氏名	任期	常勤 非常勤	報酬等	所属
評議員	北野 和	R 3. 6. 18～ 令和7年度定時評議員会 終結の時まで	非常勤	なし	日本ボーイスカウト 北海道連盟 常任理事
〃	中川 淳二	〃	〃	〃	北海道社会福祉協議会 常務理事
〃	平間 育子	〃	〃	〃	北海道女性団体連絡協議会 会長
〃	大橋 俊忠	〃	〃	〃	北海道経済連合会 理事事務局長

2 賛助会員に関する事項

(令和4年3月31日現在)

種類	前年度末	当年度末	増減
普通賛助会員 個人	51 人	45 人	-6 人
普通賛助会員 青少年関係団体	50 団体	50 団体	0 団体
特別賛助会員	145 団体	144 団体	-1 団体
合計	246 人・団体	239 人・団体	-7 人・団体

3 職員に関する事項

現在数 5名

(令和4年3月31日現在)

役職	氏名	常勤・非常勤の別
事務局次長	遠藤 善彦	常 勤
主 任	竹本 郁子	〃
主 任	福田 拓哉	〃
専門指導員	杉山 健	〃
非常勤嘱託	齋藤 博美	〃

II 事業に関する事項

1 令和3年度事業の実施状況 別添のとおり

2 役員会等に関する事項

(1) 理事会

開催年月日	決議事項	結果
令和3年6月2日 (書面理事会)	① 令和2年度事業報告について ② 令和2年度収支決算について(監査報告) ③ 諸規程の一部改正について ④ 評議員会の開催及び目的である事項について	承認 承認 承認 承認
令和3年6月18日 (書面理事会)	① 会長の再任について ② 副会長の再任について ③ 専務理事の再任について	承認 承認 承認
令和4年3月24日	① 令和4年度活動方針及び事業計画(案)について ② 令和4年度予算(案)について ③ 資金調達及び設備投資の見込みについて ④ 令和4年度資金管理運用執行方針及び計画(案)について ⑤ 諸規程の一部改正、制定及び廃止について	承認 承認 承認 承認 承認

(2) 評議員会

開催年月日	決議事項	結果
令和3年6月18日 (書面評議員会)	① 令和2年度収支決算について(監査報告) ② 理事の改選について ③ 監事の改選について ④ 評議員の改選について	承認 承認 承認 承認

(3) 基金管理運営委員会

開催年月日	内 容
令和3年8月13日 (書面委員会)	・令和2年度北海道青少年基金事業実績及び収支決算について ・令和3年度「青少年団体・グループ及び青少年顕彰」の決定について ・令和3年度北海道青少年基金運用益交付団体の決定について

3 所管庁への届出事項

届出年月日	届出事項
令和3年6月21日	令和2年度事業状況報告等の提出
令和3年7月15日	理事・評議員変更の届出
令和4年3月25日	令和4年度事業計画等の提出

4 行政機関から受けた監督上の処分又は指導に関する事項

検査年月日	検査内容	処分または指導
令和3年4月14日	令和2年度補助金事業実績報告に係る現地調査 (道環境生活部)	なし

5 事業報告の付属明細書

「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則」第34条第3項に規定する付属明細書「事業報告の内容を補足する重要な事項」に該当すると思われる事項は特にありません。

Ⅱ－１．令和３年度事業の実施状況

青少年を取り巻く状況は、いじめや不登校、児童虐待、スマートフォンの利用に伴うトラブルや被害の増加、困難を有する子ども・若者の社会的自立の支援や子どもの貧困問題など、憂慮すべき問題が生じており、行政や関係団体、企業、NPOなど様々な立場からの連携した取り組みが求められています。

このため、当協会では、北海道や関係機関・団体等と密接に連携し、コロナ禍の状況を踏まえつつ、青少年の健全育成に向けた各般の事業の推進に努めました。

令和３年度における事業の実施状況は、次のとおりです。

事業名	事業の概要	備考
1. 青少年育成住民運動促進事業	運動を効果的に推進するため、全道に青少年育成運動推進指導員を配置し、関係者との合同会議を開催するなどして、地域での青少年育成運動についての共通理解を深めるとともに、関係団体の連携による運動の促進に努めた。	
(1) 北海道青少年育成運動推進指導員の配置	<p>■定員 238人（現在数：231人） 《定員内訳》 （総合）振興局（青少年指導員）、教育局（社会教育主事） （総合）振興局管内（青年代表）各1人 札幌市10人、旭川市・函館市は各3人 小樽市・苫小牧市・帯広市・釧路市は各2人 その他の市及び町村各1人</p> <p>■活動（1）青少年育成運動（地域行事・活動に参加） （2）地域団体等の事業を実施 （3）非行防止、環境浄化（巡回パトロールなど） （4）行政との連携（市町村行事等に参加） （5）当協会の事業推進（地域住民に情報提供など）</p>	
(2) 青少年育成地域合同会議の開催（北海道との共催）	<p>全道14箇所（各（総合）振興局）で開催し、青少年育成運動推進指導員や市町村青少年行政担当者等が出席した。</p> <p>■期 日 令和3年10月7日（木）～11月30日（火） *新型コロナウイルスの影響により開催時期を秋に延期。</p> <p>■会 場 各（総合）振興局単位（14会場）</p> <p>■対 象（1）青少年育成運動推進指導員 （2）市町村青少年行政担当者 （3）青少年育成市町村民会議関係者</p> <p>■参加者 325名（総計）</p> <p>■内 容（1）令和3年度青少年育成施策の推進について （2）少年非行の概況について （3）情報提供・意見交換について</p>	
(3) 市町村民会議等の連携強化	地域における運動推進の中核である青少年育成市町村民会議（66市町村設置）への啓発資材や機関誌等の配布により情報提供を行い、連携の強化や運動の支援を図った。	

事業名	事業の概要	備考
	<p>■活動内容の紹介 当協会ホームページに活動内容を掲載したほか、機関誌において、次の市町村民会議の活動内容を紹介した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・江別市青少年のための市民会議 ・知内町青少年育成町民会議 ・天塩町児童生徒健全育成指導連絡協議会 <p>■「市町村における青少年育成に関する組織調査」の実施 青少年育成運動の推進方法等を検討するため、調査を実施したところ、149市町村に組織があることが判明した。調査結果を、機関誌やホームページに掲載し情報発信に努めた。</p>	
(4) 青少年育成地域懇話会の開催	<p>青少年育成に関わる有識者と地域の活動指導者等による懇話会を市町村民会議との共催により開催した。地域の現状や課題解決の方策等について、活発な意見交換が行われた。</p> <p style="border: 1px solid black; padding: 2px;">共和町開催</p> <p>■期 日 令和3年10月21日(木) ■場 所 共和町生涯学習センター ■共 催 共和町青少年育成協会 ■後 援 共和町教育委員会 ■テーマ 「地域の新たなリーダーづくり」 ■参加者 地元青少年育成関係者 33名 ■内 容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・講 話 題：「若者(青少年)が自ら考えて行動する 地域づくり」 <p>話題提供：NPO法人 ezo rock 代表理事 草野 竹史 氏</p> <ul style="list-style-type: none"> ・意見交流テーマ：「共和町の将来を見つめて」 ～青少年がいきいきと活動するためには～ <p>コーディネーター：北海道教育庁後志教育局教育支援課 社会教育指導班主査 田中 尚史 氏</p>	
2. 青少年を育成する環境づくり推進事業	<p>青少年の育成について、社会全体で取り組む環境づくりを進めるため、北海道青少年育成大会や青少年育成運動活性化研究協議会など関連事業を開催し、共通理解を深めた。</p>	
(1) 北海道青少年育成大会の開催 (北海道、国立青少年教育振興機構との共催)	<p>新型コロナウイルス感染症対策のため、初めて当協会ホームページでのオンライン開催とした。基調講演や表彰、青少年の活動発表、先進地の事例発表を掲載した。また、「少年の主張」全道大会も事前のビデオ審査で各賞が決定され、ホームページ上に、最優秀賞ほか地区代表者の発表を掲載した。延べ560人が視聴し、本道における青少年育成活動の推進状況をアピールすることができた。</p>	

事業名	事業の概要	備考
	<p> ■開催期間 令和3年9月10日(金)～30日(木) ■開催場所 当協会ホームページ特設サイト ■視聴者数 560名 ■掲載内容 ・令和3年度北海道青少年基金事業顕彰表彰式 受賞者：遠藤 優珠さん(旭川市) ・基調講演 演題：「地域を変える 子どもが変わる 未来が変わる！ －地域で子どもを見守り育てるために－」 講師：NPO法人豊島子どもWAKUWAKUネットワーク 理事長 栗林 知絵子 氏 ・令和3年度「少年の主張」全道大会主張発表 (札幌市及び14(総合)振興局地区代表)：16人 《最優秀賞》 受賞者：(胆振代表)洞爺湖町洞爺中学校3年 吉野 真帆 さん テーマ：「完璧じゃなくていい」 ・青少年の活動発表 発表題：「子どもと地域の人に関わる場所をつくる」 発表者：NPO法人E-LINK代表理事 日向 洋喜 氏 ・事例発表 発表題：「子ども達の夢や未来を地域で支えよう －CSが子ども達に出来ること－」 発表者：西部コミュニティ・スクール運営委員会 委員長 小早川 俊哉 氏 ・高校生生活体験発表 発表題：「私、適当でも大丈夫」 発表者：北海道ニセコ高等学校3学年(当時) 中鉢 蒼 さん </p>	
(2) 青少年育成運動活性化研究協議会の開催	<p> 青少年育成運動推進指導員のほか、道内各地の青少年育成関係者やボランティアを対象として開催した。基調講演やテーマ別分科会で、研究協議や意見交換等を行い、今後の子供・若者育成支援や青少年育成運動の現状や課題、今後の支援等についての共通理解を深めた。 </p> <p> ■期 日 令和3年11月13日(金) ■場 所 道民活動センター(かでの2・7)大会議室ほか ■参加者 北海道青少年育成運動推進指導員、青少年育成関係機関・団体関係者、各振興局・市町村行政関係職員 青少年補導員、更生保護関係者等 121名 *新型コロナウイルス感染症拡大防止のため人数を制限。 </p> <p> ■内 容 ・基調講演 演題：「家族のケアを担う子ども達の実態 －孤立する“ヤングケアラー”に求められる支援－」 </p>	

事業名	事業の概要	備考
	<p>講師：一般社団法人日本ケアラー連盟理事 中村 健治 氏</p> <p>第1分科会 テーマ：「ネット社会に生きる子ども達の現状」 ～子ども達をネットトラブルから防ぐために～ 話題提供者：小樽市教育研究所 ICT 支援員 藤平 繁範 氏 コーディネーター：北海道教育庁石狩教育局教育支援課 社会教育指導班主査 久末 孝勇 氏</p> <p>第2分科会 テーマ：「学習格差における家庭が抱える問題」 ～学びの支援を子ども達に届けるために～ 話題提供者：NPO法人Kacotam (カコタム) 理事長 高橋 勇造 氏 コーディネーター：北海道教育庁空知教育局教育支援課 社会教育指導班社会教育主事 石川 究 氏</p>	
(3) 明るい家庭づくり道民運動の推進	<p>本運動を一層推進するため、「道民家庭の日」啓発資料の作成配付、「家族ふれあい優待制度」、「道民家庭の日」絵画コンクールなどを実施し、「道民家庭の日」の普及啓発に努めた。</p> <p>また、市町村に対し明るい家庭づくり道民運動推進状況調査を実施（3年毎）し、推進状況を把握した。</p> <p>■「道民家庭の日」普及促進のための情報誌等への掲載 北海道新聞社が発行する「さっぽろ10区（トーク）」に、ほーほーくんを掲載したほか、(株)リクルート北海道じゃらんが発行する「北海道じゃらん7月号」に関係記事を掲載した。</p> <p>■「道民家庭の日」啓発資料等の作成・配付等 各市町村や全道の小中学校、児童館、関係機関・団体などに配付したほか、各種事業やイベント等で活用した。</p> <p>（啓発リーフレット(60,000部)、カレンダー(4,000部)、自由帳(3,000部)、啓発シール(5,000シート)、啓発マスク(5,000枚)など</p> <p>■家族ふれあい優待制度の普及促進 各振興局や市町村、推進指導員に情報提供や協力依頼をしたほか、民間企業等の情報誌や大手ハンバーガーチェーン店の折り込みチラシ、映画ポスターへの掲載などPR活動に努めた。</p> <p>《協賛店・施設》 ホテル・旅館、飲食店、博物館・水族館、テーマパーク、果樹園、ボウリング場、スーパー・商店、キャンプ場など 計 370ヶ所(前年度376ヶ所)</p>	

事業名	事業の概要	備考
	<p>■「道民家庭の日」絵画コンクール2021の実施 全道の小・中学校児童生徒の応募原画から入選作品を審査決定し表彰するとともに、入賞作品展を開催した。 また、キューピー株式会社の協力を得て「特別賞（キューピー賞）」を設けた。 【応募総数：61校／317点】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・最優秀賞 2点(賞状、盾) <p>小学生の部</p> <p>受賞者：旭川市立北光小学校6年 片桐 颯希さん 題名：「ステイホームでの弟の成長」</p> <p>中学生の部</p> <p>受賞者：釧路市立青陵中学校3年 青木 美和さん 題名：「もう一度戻りたいな」</p> <p>(以下、各部門毎に入選作品を決定)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・優秀賞 各 2点(賞状、盾) ・特別賞 各 2点(賞状、盾) ・優良賞 各 6点(賞状、盾) ・佳作 各 24点(賞状) ・学校賞 2校(賞状) <p>■絵画コンクール入賞作品展の開催</p> <ul style="list-style-type: none"> ・札幌駅前通地下広場 【入場者数：401名/過去最多】 (令和3年11月28日) ・各総合振興局・振興局庁舎等 (令和3年12月13日～17日／檜山振興局庁舎) (令和4年 1月14日～21日／美幌町民会館) (令和4年 1月24日～28日／渡島合同庁舎) (令和4年 2月 1日～ 4日／胆振総合振興局庁舎) (令和4年 2月 7日～10日／後志合同庁舎) (令和4年 2月14日～18日／JR稚内駅構内) (令和4年 2月22日～25日／上川合同庁舎) (令和4年 2月28日～3月4日／根室振興局庁舎) <p>■明るい家庭づくり道民運動推進状況調査の実施 道内市町村に対し調査を実施した結果、約9割の市町村が、運動を推進しているとの回答を得た。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「運動を推進している」 161市町村 [前回比: 4市町村増] ・「運動を推進していない」 18市町村 <p>※18市町村中、11市町村が今後推進したいと回答</p>	

事業名	事業の概要	備考
(4) 青少年を非行・被害から守る環境づくりの推進	<p>7月の「青少年の非行・被害防止全国強調月間」(国)、「青少年の非行防止道民総ぐるみ運動強調月間」(道)、11月の「子供・若者育成支援強調月間」(国)の一環として関係団体と街頭啓発活動を実施したほか、関連事業と連動させながら、非行防止のための諸活動を推進した。</p> <p><u>① 関係団体と協力した街頭啓発活動等の実施</u> 「夏・冬の暴力追放運動」街頭啓発活動 ■ 共 催 公益財団法人北海道暴力追放センター ■ 日 時 令和3年7月～8月 (2日間/延べ2回) 令和3年 12月 (1日間/延べ1回) ■ 実施場所 地下鉄駅前等(札幌市内) ■ 配付資材 「道民家庭の日」啓発ポケットティッシュ及びリーフレット、メモ帳 総計 300個</p> <p>また、7月の強調月間で啓発資材として、「道民家庭の日」ポケットティッシュを各(総合)振興局に配付し、非行防止活動の一層の推進に努めた。</p> <p>■ 配付部数 ポケットティッシュ 計 13,500個</p> <p><u>② 麻薬覚せい剤乱用防止キャンペーンビデオ「DRUG」の貸出</u> 麻薬覚せい剤乱用防止キャンペーン映画「DRUG」のビデオテープの貸出について当協会ホームページで周知を図った。</p> <p><u>③ 未成年者の飲酒・喫煙防止活動の促進</u> 当協会のホームページに喫煙と健康の問題に関する情報を掲載し、未成年者の喫煙防止活動の一層の充実を図った。</p> <p><u>④ 有害情報から青少年を守る活動の推進</u> 北海道や学校関係者、情報通信企業などにより構成する北海道青少年有害情報対策実行委員会の一員として、インターネットや携帯電話による有害情報から青少年を守るため、各種啓発活動を進めた。</p>	
(5) 「大人が変われば、子どもも変わる」運動の推進	<p>啓発資料を市町村及び関係機関・団体等に配付したほか、当協会が開催した各種大会等を通じ、運動の周知に努めた。</p> <p>■ 配付部数 「大人が変われば、子どもも変わる」啓発パンフレット 1,000部</p>	

事業名	事業の概要	備考
<p>(6)「北海道青少年のための200冊」の選定推奨</p>	<p>① <u>「北海道青少年のための200冊」普及事業</u> 青少年の読書普及の一環として、北海道学校図書館協会、北海道読書推進運動協議会、各出版社の協力を得て、令和3年度版「北海道青少年のための200冊」を選定し、図書目録や啓発ポスターを作成して、全道の幼稚園や小・中・高校など関係方面に配付するとともに、ホームページに掲載するなど、良書の情報提供に努めた。 また、事業開始から50周年を迎えたことを記念し、しおりを作成・配布し、書店等の協力を得て、広く道民へ普及促進を図った。</p> <p>■ 配付部数 ・ 令和3年度図書目録 12,000部 ・ 令和3年度新選図書目録 12,000部 ・ 200冊啓発ポスター 3,000部 ・ 50周年記念しおり 50,000枚</p> <p>■ 協賛出版社 46社</p> <p>② <u>第33回読書感想画中央コンクール・第8回全道コンクール</u> 北海道学校図書館協会及び毎日新聞社が主催するもので、対象図書として活用された。</p> <p>③ <u>第67回青少年読書感想文全道コンクール・第47回北海道指定図書読書感想文コンクール</u> 北海道学校図書館協会及び毎日新聞社が主催。「協会長賞(2名)」を贈呈し、青少年の読書の普及活動を支援した。</p>	
<p>(7) 青少年育成関係団体懇談会の開催</p>	<p>懇談会は、新型コロナウイルス感染症対策のため、オンライン・会場参加を併用したハイブリッド開催とした。 懇談会では、青少年育成関係団体・機関等が、相互の団体活動の連携協力や青少年健全育成の効果的な促進について情報交換などを行ったほか、話題提供により、コロナ禍における新たな子どもの人権問題について現状や課題等を把握し、共通認識を深めた。</p> <p>■ 期 日 令和4年2月3日(木) ■ 場 所 かでる2・7 10階 1060会議室 ■ 参加団体 9団体・1機関 ■ 内 容 ・ 話題提供 演題：「子どもの人権を守るために、大人達ができることーコロナ禍での新たな子どもの人権問題ー」について 説明：札幌市子どもの権利救済機関(子どもアシストセンター) 救済委員 品川 ひろみ 氏 ・ 意見交換、情報提供など</p>	

事業名	事業の概要	備考
(8) 広報啓発活動の推進	<p>① 啓発資材の作成・配布 「道民家庭の日」絵画コンクール入賞作品13点を掲載した2022年カレンダーを作成し、市町村、小・中学校、関係機関・団体に配付し、青少年育成運動の普及促進に努めた。</p> <p>■ 配付部数 2022年カレンダー 4,000部</p> <p>② 協会機関誌の発行 協会の事業報告や関係機関の関連記事などを掲載する機関誌を年2回発行し、各総合振興局・振興局、市町村、関係機関・団体、賛助会員等に配付し、広報啓発を行った。</p> <p>■ 配付部数 協会機関誌「育む」 [各回] 2,500部</p> <p>③ 講師派遣の実施 各振興局、市町村、育成団体等が開催する各種研修会に講師を派遣し、全道の青少年育成運動の現状と課題等について講演を行った。</p> <p>■ 派遣場所（派遣回数 2回／総参加者 67名） ・札幌市西区青少年育成委員会研修会（札幌市／参加者54名） ・後志管内青少年育成運動推進指導員協議会研修会（倶知安町／参加者13名）</p> <p>④ ホームページ・SNSの活用 協会が実施する各種行事や大会の開催予告及び結果、絵画コンクール作品募集等の記事や出版物の電子版を掲載したほか、SNS（LINE）を活用し、幅広い層への情報発信に努めた</p> <p>⑤ 講演録集の作成・配布 青少年育成についての理解を深めるため、北海道青少年育成大会や他の基調講演の内容を取りまとめた講演録集「次代を見つめて'21」を発行し、各市町村・推進指導員・関係機関等に配付した。</p> <p>■ 配付部数 700部</p>	
3. 社会参加促進事業	<p>青少年の社会参加活動を促進するため、青少年基金を活用し顕彰事業や助成事業を行うとともに、青年が地域の中核的な担い手として成長することをめざす「北海道青年活動元気づくりプロジェクト」事業を実施した。</p> <p>*新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、「青年活動元気づくり実践セミナー」は中止とした。</p>	
(1) 青少年の社会参加・体験活動等への支援（北海道青少年基金事業）	<p>北海道青少年基金の充実を図るため、関係機関・団体等に対し募金活動を行った。</p> <p>また、運用益事業では、青少年団体・グループに助成し、青少年の社会参加活動を促進するとともに、他の模範となる青少年団体を顕彰した。</p>	

事業名	事業の概要	備考
	<p>① 募金活動</p> <p>道職員や各関係団体への協力要請、新成人記念募金、施設や運用益交付事業実施時の募金箱の設置依頼、当協会実施行事等で募金の呼び掛けを行った。</p> <p>■ 基金造成実績</p> <p>募金実績額：125万7,715円（予算額：130万円） 基金累計額：3億3,715万9,708円</p> <p>② 運用益交付等事業</p> <p>■ 助成事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・交付団体数 27団体 ・交付総額 199万2千円 <p>■ 顕彰事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・団体の部 1個人（推薦数：1個人） 遠藤 優珠さん（旭川市・高校3年生） 令和3年9月10日～30日にWEB開催した「北海道青少年育成大会」において、功績等を掲載した。 	
(2) 北海道青年活動 元気づくりプロジェクト事業の 推進	<p>地域の青年団体・グループが行う地域の活性化活動に対し、交付金を交付し活動の推進を図った。</p> <p>【交付青年団体グループ名・事業名】</p> <p>特定非営利活動法人 ezo rock</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ 事業名：GREENDAY2022オンライン ■ 期 日：令和4年2月19日（土）～20日（日） ■ 場 所：ezo rock 事務所（札幌市／Zoom配信会場） ■ 参加者：134名 <p>利尻島木材活用検討会</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ 事業名：利尻島木材イノベーション ■ 期 日：令和3年11月～2月 ■ 場 所：利尻町交流促進施設どんと 他 ■ 参加者：10名 	
4. 共催事業等	<p>関係機関・団体の事業を共催により実施するとともに、関係団体が実施した事業に協力した。</p>	
(1) 北海道・東北 ブロック研修会、 中央研修大会 等へ参加協力	<p>内閣府主催の令和3年度「子供・若者育成支援のための地域連携推進事業」への参加者募集の周知に努めた。</p> <p>① 北海道・東北ブロック研修会（オンライン開催）</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ 日 時 令和3年 9月 2日（木） ■ 方 式 オンライン開催（開催担当ブロック：福島県） ■ 協力等 当協会ホームページにおいて募集の周知 	

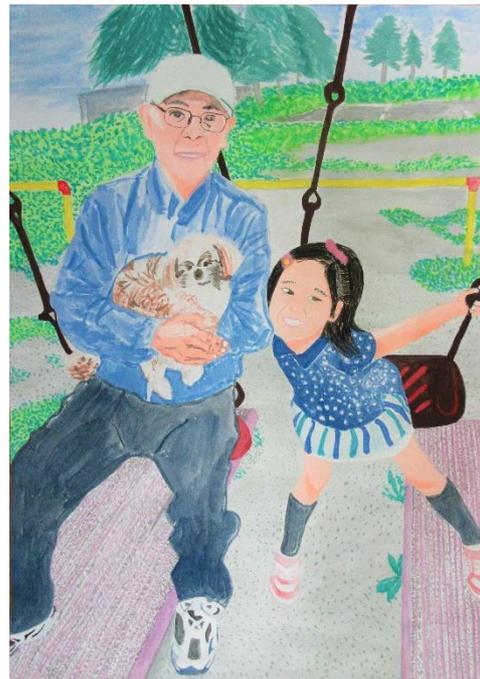
事業名	事業の概要	備考
	<p>② <u>中央研修大会（オンライン開催）</u> ■ 日時 令和3年11月29日（月）～30日（火） ■ 方式 オンライン開催 ■ 協力等 当協会ホームページにおいて募集の周知</p> <p>③ <u>青年リーダー研修会（オンライン開催）</u> ■ 日時 令和4年1月24日（月）～26日（水） ■ 方式 オンライン開催 ■ 協力等 当協会ホームページにおいて募集の周知や青年団体等へ照会した。</p>	
<p>(2)「日本の次世代リーダー養成塾」道内高等学校生の派遣事業に対する協力</p>	<p>本道の青少年の自立を促し、ボランティアや国際貢献、起業などに取り組む意欲を向上させるため、次代の北海道を担う青少年育成協議会の構成機関として協力した。</p>	

「道民家庭の日」絵画コンクール2021
 最優秀賞（北海道知事賞）



小学生の部

「ステイホームでの弟の成長」
 旭川市立北光小学校6年 片桐 颯希 さん



中学生の部

「もう一度戻りたいな」
 釧路市立青陵中学校3年 青木 美和 さん